旬真っ盛りの「長門ゆずきち」
（9月：長門市俵山大羽山　吉村農園にて）

こんにちは！かさもと俊也です！県政レポート
【vol.5】2014年10月15日発行

山口・ふるさと長門から まち・ひと・しごと 創生を！

議員に送り出していただき、2年9ヵ月が過ぎました。皆様方には、いつも様々な場面でお世話になっており、心から感謝申し上げます。

今号では、県議会6月・9月定例会の審議結果を、最近の活動と併せてご報告いたします。

国においては、9月に第二次安倍内閣が誕生し、ローカルアベノミクスを軸とした地域経済の再生や、人口急減に対応した地方創生に全力が注がれることとなり、今後の政権運営に期待が高まります。

さて、平成30年には、近代日本への大きな転換点である明治維新から150年という記念すべき年を迎えることとなりますが、外交・防衛、エネルギー、人口減少などに直面する現在の社会経済情勢は、当時と同様、これまでにない解決策を求めており、まさに大きな転換期を迎えています。

こうした中、地元ゆかりの安倍政権が操る日本丸を支える根幹の力は、全国津々浦々「地方」の力であり、長門地域も農林水産業や観光産業の分野で、他の地域にはない独自の政策を展開していかなければなりません。

私は、長門市の目指す「ながと成長戦略」が着実に実を結ぶよう、県とも連携を密にしながら、「ふるさとづくり」の司令塔である市としっかり戦術を練り、次世代の地域を牽引する「拠点」と「主役」を作りだしていくことが重要と考え、皆様からのご意見やご要望を積極的に送り届けているところです。

今後とも皆様の声を拝聴し、日々の議員活動に邁進してまいりますので、相変わることのないご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

安倍総理の地方創生を地元から！

山口県議会議員
吉本 俊也

かさもと俊也の ＼元気ハツラツ写真レポート！／

▲ 日韓海峡海岸漂着ゴミ一斉清掃
長門の美しい自然を守るため、その対策を県も応援中！今回は村岡知事、昭恵総理夫人も清掃に参加。

▲ 第４回鯨グッズ展 in 長門
長門伝統のくじら文化。世代を超えて大切に守り続ける皆様へ激励。私も食文化を継承する会の会員となり応援中。

▲ 青海島「カキ小屋せむら」オープニング式
通地区にカキ小屋がオープン。生産から販売まで手掛ける岩牡蠣による６次産業化実践を応援。

▲ がん対策推進条例に関する政策立案等検討会
がんの予防・治療・緩和ケア等、一体的な対策が進められるように！政策立案検討会委員として活動。

▲ 高校生による白オクラ販売会
大津緑洋高日置キャンパスの生徒による白オクラ販売会に参加し、消費者に一緒にピーアール。

▲ 観光地湯本の景観美化に向けグループ清掃
湯本まちづくり協議会、温泉旅館組合、自治会など有志の皆様と共に荒れていた太寧寺前石階道を清掃。

▲ プロジェクトＭリニューアル
昨年の漁協前作品に続き、全14作目となるプロジェクトＭが完成。仙崎みすゞ通りの活性化を応援。

▲ 全国やきとりリンピック in 長門開催
他地域では出来ないオンリーワンの取組が、夏休み最後の週末の長門市を活性化。今後の起爆剤に。

▲ 長門市交通安全のつどい
秋の全国交通安全運動を前に、市民の皆様と共に交通安全を願い、激励と街頭パレードに参加。

▲ 後畑の棚田で自然栽培米の刈り取り式
昨年の３倍に作付が増やされた自然栽培米。自然豊かな向津具半島での暮らしを売る切欠づくりに。

県政報告会・対話集会

平成26年３月～９月まで、市内４ヵ所で県政報告会・対話集会を開催いたしました。
※県政レポート vol.4 以降（36回目以降）を掲載しております

37 正明市二区 6月15日（日）

38 湊6区はまゆう会 6月20日（金）

39 藤中地区 7月10日（火）

40 野波瀬地区 9月19日（金）

こんにちは！かさもと俊也です！県政レポート
【vol.5】2014年10月15日発行

発行：かさもと俊也事務所

住所　〒759-4101
長門市東深川2542-3　レインボービル１階
TEL/FAX　0837-22-5226
EMAIL　kasamototoshiya@gmail.com

県政に対する皆様のご意見・ご要望をお寄せください！

農林水産委員会にて質問

質問　やまぐち6次産業化・農商工連携推進事業について

本県農林水産物の加工品や保存可能商品の販売力強化が重要。そのためには、6次産業化と農商工連携の相談窓口を一本化するなど総合的な支援体制を整備する必要があるが、どのように進めるのか？

【答：蔵重企画流通課長】6次産業化と農商工連携の相談窓口をやまぐち農林振興公社に一元化し、総合的な進行管理を行うとともに、生産者団体・商工団体・金融機関が情報を共有化する推進協議会を設置。新商品開発には専門家のアドバイスや内容審査を加え、販路開拓には試験販売箇所の確保や専門家による評価会の開催で支援。

質問　6月補正予算を踏まえた本県の水産業振興について

下関漁港の機能強化や、「種苗をつくり育てる」資源造成など、水産業への取り組みが強化されているが、これらを水揚げにつなげていくための「水産県やまぐち」づくりに、どのように取り組むのか？

【答：矢尾水産振興課長】拠点施設の整備もさることながら、生産面では資源が重要となるため、放流時のみならず放流後の管理について、漁業者と知恵を出し合う。先般開催された「漁業就業支援フェア」には、多くの若者が新たな担い手を目指して参加しているので、県として、彼らにしっかり対応。

質問　やまぐちブランドについて

瀬つきアジは現物がブランド表示できるとのことだが、レンコダイは一夜干しという加工品が登録されている。山口ブランドの管理は徹底しているのか？

【答：蔵重企画流通課長】登録商品については袋にやまぐちブランドのシールを貼付し表示しているが、鮮魚などは、何がやまぐちブランドかはっきり分かる表示方法について、販売協力店舗を通じ徹底している。

質問　やまぐち和牛ブランド力アップ事業について

全共で優秀な成績を収める地盤を作っていくための工程表はどうなっているか？

【答：水原畜産振興課長】10月までに、宮崎・鹿児島両県から脂肪交雑能力の高いものを50頭導入できるよう目指している。これを含めた、県内の優良雌牛200頭と県が定めた指定種雄牛との交配を、11月から1ヵ月間推進する。